

活動名称 (40字以内)	システムデザイン演習:カーボンニュートラル国際海運システムのデザイン		
団体名等	新領域創成科学研究科 人間環境学専攻		
活動区分	<input type="checkbox"/> ボランティアなどの社会貢献活動	選考方法	<input type="checkbox"/> 先着順
	<input type="checkbox"/> 国際交流体験活動		<input checked="" type="checkbox"/> 書類審査
	<input type="checkbox"/> 就労体験活動	募集人数	<input type="checkbox"/> 面接
	<input type="checkbox"/> 農林水産業・地域体験活動		3 人
	<input type="checkbox"/> フィールドワーク体験活動		
<input checked="" type="checkbox"/> 研究室体験活動			
活動方法	<input checked="" type="checkbox"/> オンラインを活用しつつ現地活動を行う <input type="checkbox"/> オンラインのみで活動を行う		
大学院学生	<input type="checkbox"/> 含む <input checked="" type="checkbox"/> 含まない		
参加資格等	大学の学部学生であること。		
活動期間	2023年7月末	～	2023年8月前半
	2	週間	
	主な活動予定場所	柏キャンパスおよびオンライン	
目的	シミュレーションプログラムを利用したカーボンニュートラル国際海運システムのデザイン		
具体的な内容 (800字程度)	<p>国際海事機関の海洋環境保全委員会では、国際海運における中・長期的な温室効果ガス削減対策としてEU が提案する温室効果ガス排出強度規制(GHG Fuel Standard, GFS)と、日本が提案するFeebateを併用することが議論されました。Feebateとは比較的安価な化石燃料と高価なゼロエミ燃料の価格差を課金と還付によって補填する制度であり、ネットゼロに向けた燃料の導入を促進することが期待されています。このFeebateは、排出量を基準にする規制ではなく、利害関係者の行動に作用する経済的手法であるため、二酸化炭素排出抑制効果の予測が容易ではないという課題があります。</p> <p>本インターンでは、このような規制やFeebateのような経済的手法による船会社や荷主の行動の変化をシミュレートすることで、国際海運のカーボンニュートラル化を効果的に進める制度の検討を行います。主な内容は以下になります。</p> <p>(1) 国際海運における脱炭素の動向について学びます。海運会社や造船会社だけでなく、国際海事機関、船級協会、燃料供給会社などの規制やインフラに関する組織も含めたステークホルダーの脱炭素に向けた動向について調査します。(3日間程度)</p> <p>(2) ルルチエージェントシミュレーションにより海運会社の意思決定をモデル化したソフトウェアを用いて、規制を変化させたときの二酸化炭素排出量や国際海運の経済性の変化を確認します。(5日間程度)</p> <p>(3) 調査やシミュレーションの結果から得られた知見をまとめて、パワーポイント形式の報告書を作成します。(2日間程度)</p> <p>初回と最終回は柏キャンパスにて対面で行い、そのほかの活動は柏とオンラインのハイブリッドを予定しています。</p>		
備考			
参加するための費用*	内 訳(1名当たり)	その他*特記事項は以下に記載	
	交通費 18,800 円 宿泊費 円	柏と本郷の2キャンパスを10往復することを想定した、最大額。	
	計 18,800 円	奨励金額	活動後に算出
ウェブサイト等	https://is.edu.k.u-tokyo.ac.jp/		